

令和 6 年度事業報告

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員が豊富な経験と知識、技能を生かしながら健康を保ち喜びと生きがいをもって、地域社会に参加し、貢献してまいりましたが、会員の高齢化、独自事業の拡大等、多くの課題をかかえている状況が続いております。

この状況を打開するために新会員の加入と就業機会の拡大を最重点目標に掲げ、シルバー事業の普及を図るための啓発活動を積極的に実施しましたが、企業の雇用年齢の引き上げ、会員の高齢化により、会員数については昨年度より減少する結果となりました。

また、高齢者が生涯現役で活躍し続けられるよう就業機会の提供と確保に努めましたが、契約金額については前年度を僅かに下回る結果となりました。

このことから、今後においては、会員の安全対策に取り組み、就業機会の拡大を図るとともに、会員の増加についてはセンターの活性化を図るうえで必要不可欠であることから、引き続き最重要課題として取り組んでまいります。

1 事業の普及啓発

- (1) センターの機関紙「シルバーだより」を 8 月と 1 月の年 2 回市広報紙に折込み市内全世帯に配布し、センターの普及啓発に努めました。
- (2) 市広報「北名古屋」、地域情報誌「北名古屋市民タイムズ」に、会員募集などの情報を提供し、センター事業の普及啓発に努めました。
- (3) 10 月のシルバー会員・就業拡大強化月間においては、啓発看板やマグネットシート等により会員募集と就業開拓に努めました。
- (4) センターのホームページを随時更新し、シルバーの啓発に努めました。
- (5) 北名古屋市循環バス車内及び公共施設に会員募集ポスターを掲出し、会員の拡大に努めました。

2 組織の状況

- (1) 令和 6 年度は、入会者 45 名、退会者 52 名（うち物故者 10 名）で、年度末会員数は 623 名となり、昨年度より 7 名減（前年度比 1.1%減）となりました。これは、昨年同様、7 月、10 月「会員紹介カード」による全会員「新会員一人確保」運動を展開したが、会員の高齢化が影響したと思われます。また、退会された会員の内、病気・高齢の理由で退会された会員は

半数以上（55.8%）を占めました。

- (2) 入会説明会を、年間12回（毎月第3水曜日）開催し、シルバー人材センターの役割、仕組み、安全就業、就業基準等について説明するとともに、理事2名が参加し、先輩会員としての経験談等を話し、入会促進を図りました。
- (3) 市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会などの団体に働きかけ入会案内や事業協力を進めました。

3 事業実績

- (1) 事業の契約金額は、2億8,324万円で、前年度に比べ25万円減（0.1%減）、また、配分金の総額では、2億1,856万円で、前年度より113万円減（0.5%減）となりました。

年間就業延人員は、6万9,586人で、前年度より614人減（0.9%減）となりました。

区分 年度	契約金額 (万円)	配分金収入 (万円)				年間就業 延人員 (人)
		事業所	公共	一般家庭	独自事業	
令和5年度	28,349	5,753	10,535	4,863	817	70,200
令和6年度	28,324	5,463	10,754	4,839	800	69,586
増減	△25	△290	219	△24	△17	△614
前年増減比	△0.1%	△5.0%	2.1%	△0.5%	△2.1%	△0.9%

- (2) 愛知県シルバー人材センター連合会北名古屋市事務所としての一般労働者派遣事業の契約金額は、3,076万円で、前年度に比べ493万円増（19.1%増）、また、会員賃金の総額では、2,420万円で、前年度に比べ390万円増（19.2%増）となりました。

年間労働者延人員は、6,806人で、前年度より856人増（14.4%増）となりました。

- (3) 独自事業の女性部会は、活動拠点のふれあいの家で、布製の小物等を作製し、展示販売や総会等の記念品を受注し作製しました。

また、ふれあい農園部会は、各種農作物の生産を行い、市民の皆さんに販売するとともに、地産地消とシルバーの普及啓発に貢献しました。

高齢者生活支援部会は、独り暮らしの高齢者等に対する生活の手助けを行うとともに、「喫茶もえの丘」を営業し、憩いの場を提供しました。喫茶もえの丘ではふれあい農園部会で生産した農作物の販売と店の調理材料としての仕入れも行いました。なお、木工部会は、実績がありませんでした。

- (4) センターから会員に情報提供（お知らせ、就業情報、就業依頼）を実施するため、「Smile to Smile サービス」ソフトを導入しました。

4 安全・健康管理

- (1) 7月・1月の安全就業強化月間には、安全意識の高揚を図る看板を掲出するとともに、5月・7月・9月・3月には就業現場の安全パトロールを実施し、就業中の事故に対する注意喚起を呼びかけました。
- (2) 安全就業と事故防止を図るため、6月に会員から安全標語を募集し、優秀作品を発表するとともに、毎月発行の「シルバーニュース」に事故防止の喚起記事を掲載するなど啓発に努めました。
- (3) 事故発生状況は、傷害事故10件、損害賠償事故1件で、前年度と比べ傷害事故が4件増加、損害賠償事故は2件減少となりました。
- (4) 公用車運転業務年齢制度により、委員会で決定し該当者に通知しました。

5 シルバーの日式典及び互助会フェスティバル

10月19日に「シルバーの日式典・互助会フェスティバル」を開催し、会員の表彰伝達後、アトラクションとしてバンド演奏、カラオケクラブの歌唱、コメディマジック及び抽選会を行い、会員相互の親睦、交流を図るとともに、市民にも参加していただき、センターの啓発を行いました。

6 福利厚生等

3月に、各地域班長が招集する地域班会議が開催され、会員相互の交流が図られました。

また、就業中における熱中症等の健康管理を呼びかけました。

7 社会奉仕活動

5月の市ごみゼロ運動、10月の合瀬川清掃活動に参加しました。

以下、会員状況、事業実績、事故状況等については、別表のとおりです。